

7月	目 標 ・ ね ら い	夏休みを満喫する。 水遊びを楽しむ。 公共の場での過ごし方を学ぶ。	活 動 ・ 内 容 ・ 行 事	水遊び（交流） セタ 夏休み期間（買い物・プール・公園・交流など）
				水に慣れ、楽しく過ごす。セタの制作。夏の壁面づくり。 スイカ割りやかき氷など季節の活動をする。絵本などを使い外出のルールを学び、楽しく出かける。
8月		夏休みを満喫する。 水遊びを楽しむ。 公共の場での過ごし方を学ぶ。		夏休み期間（買い物・プール・公園・交流など）
				絵本などを使い外出のルールを学び、楽しく出かける。 水遊び・シャボン玉・氷あそび・かき氷や流しそうめんなど季節の活動（食中毒等に注意して実施）
9月		お年寄りとの関わりを持つことで、思いやりの気持ちを育む。		防災訓練（引き渡し訓練） 十五夜 敬老の日（事業所間交流）
				おじいちゃん、おばあちゃんへのプレゼントづくり 法人内の高齢者施設訪問など（予定）

五領域ごとのねらい・内容		
区分	五領域	内容
健康・生活	個々に合わせた生活スキルが身につく	・新しい環境に慣れてきたため、児童も大人も安心してしまい、注意力が散漫になり、怪我をしやすい時期です。危険のないように安全に気を付けて対応していきます。 ・熱中症や夏の風邪など体調面でも注意が必要な季節ですので、体調に配慮して、当日の活動を変更するなど、個々に合わせた対応、言葉かけ、環境を配慮していきます。
運動・感覚	遊びを通じて、身体的な動きや五感を多様に経験する	・水遊びが苦手な児童でも、色水や魚釣り（工作）など直接、水を触らない活動など配慮していきます。 ・氷水遊びなどで、手足での感じ方などを体験したり、スイカ割ごっこなどで、目隠しをしたり、見えている状態で、物を使って目標物に当たるようにするなど、視覚聴覚触覚などそれぞれの感覚を刺激できるように配慮していきます。
認知・行動	物事の理解を増やし、生活につなげる	・人と関わる中で、使い方を覚えたり、それぞれのルールを見たり、聞いたりしながら、理解できるように配慮します。 ・色々な年代の人と関わる機会が持てるように交流の機会をつくっていきます。
言語・コミュニケーション	相手に”伝わった”経験をさせる	・児童、一人ひとりの思いをくみ取ることができるよう、表情やしぐさ、発する言葉や音などに注意して、見守ります。 ・好きな遊びから関わりが増えるように促します。 ・自分の思いをそれぞれの方法で知らせる手立てを探していきます。
人間関係・社会性	地域の人とのコミュニケーションをとる	・公園や図書館、買い物先のお菓子屋さんなどで会った人に職員から進んで挨拶をし、子どもたちが安心して地域の人と関わりが持てるようにします。

その他の活動内容について
7月：感覚遊び（水遊び・バランス・シャボン玉・かき氷など）・散策（季節）・外出（買い物・課外活動など）
8月：感覚遊び（水遊び・バランス・シャボン玉・かき氷など）・散策（季節）・外出（買い物・課外活動など）
9月：季節の活動・散策（季節）・外出（買い物・課外活動・交流など）